

一

中川さんの学級では、夏休みに読んだ本の中で心に残ったものを感想文に書き、図書新聞にのせることにしました。先生が、感想文の書き方の勉強になるように二人の感想文をしようかいました。同じ本について書いた二人の感想文を読んで、あとの問いに答えましょう。

〈青木さんが書いた感想文〉

主人公あゆみの印象的な言葉。
「いつもそばにいていっしょに行動することだけが友達じゃない。ときにはきよりを置き、友達を見守ることが大切だ。」わたしは、この本を読んで、はげまされ、勇気をもらいました。

あゆみは、親友とささいなことではけんかをします。少しずつ二人の心ははなれてしまい、落ちこんでいきます。そんなとき、全く気が合わないと決めつけていた別の友達が、「気にしすぎだよ。そのうち、仲良くなれるよ。」と声をかけてきました。話すことが少なかった友達が、声をかけてくれたことで、あゆみは元気づけられ、前向きな気持ちになれたのでした。

わたしは、この本と出会ってから、いろいろな人と広くかかわることができるようになりました。少しのけんかは気にせず、できるだけ多くの友達をつくろうと思います。この本に出会うことができ、本当によかったです。

〈高橋さんが書いた感想文〉

わたしは、「相手のきげんをとったり、合わせたりするのは、本当の友達とはいえない。」という主人公あゆみの言葉をうまく受け入れられません。この本を読んで、人と人がつながることのむずかしさを改めて考えました。

あゆみは、親友とうまくいけなくなったり、今まではちがう見方をしました。少しずつはなれていく関係になやみながらも、新しく友達との関係をつくることができました。いつまでも考えこまず、気持ちを切りかえるようにしたのです。あゆみは自分にとって本当の友達とは何かということの答えを見つけたのです。

わたしも、あゆみと同じような体験をしたことがあるのですが、うまくいきませんでした。広く人とかかわり、新しく友達を見つけていくことは大事です。だからといって、すぐに気持ちを切りかえるのはかんたんではありません。これからも、人と人とのつながりについて、考えていきたいと思っています。

先生は、この二人の感想文はどちらも良い書き方だとみんなにしようかいました。二人に共通する良い書き方とは、どのようなことですか。二つ書きましよう。

↓この正答例は三つあげておきました。

チャレンジ問題 八月(葉月)

月 日 名前 ()

一

中川さんの学級では、夏休みに読んだ本の中で心に残ったものを感想文に書き、図書新聞にのせることにしました。先生が、感想文の書き方の勉強になるように二人の感想文をしようかいました。同じ本について書いた二人の感想文を読んで、あとの問いに答えましょう。

〈青木さんが書いた感想文〉

主人公あゆみの印象的な言葉。
「いつもそばにいていっしょに行動することだけが友達じゃない。ときにはきよりを置き、友達を見守ることが大切だ。」わたしは、この本を読んで、はげまされ、勇気をもらいました。
あゆみは、親友とささいなことではけんかをします。少しずつ二人の心ははなれてしまい、落ちこんでいきます。そんなとき、全く気が合わないと決めつけていた別の友達が、「気にしすぎだよ。そのうち、仲良くなれるよ。」と声をかけてきました。話すことが少なかった友達が、声をかけてくれたことで、あゆみは元気づけられ、前向きな気持ちになれたのでした。
わたしは、この本と出会ってから、いろいろな人と広くかかわることができるようになりました。少しのけんかは気にせず、できるだけ多くの友達をつくらうと思います。この本に出会うことができ、本当によかったです。

〈高橋さんが書いた感想文〉

わたしは、「相手のきげんをとったり、合わせたりするのは、本当の友達とはいえない。」という主人公あゆみの言葉をうまく受け入れられません。この本を読んで、人と人とがつながることのむずかしさを改めて考えました。
あゆみは、親友とうまくいけなくなったとき、今までとはちがう見方をしました。少しずつはなれていく関係になやみながらも、新しく友達との関係をつくることができました。いつまでも考えこまず、気持ちを切りかえるようにしたのです。あゆみは自分にとって本当の友達とは何かというこの答えを見つけたのです。
わたしも、あゆみと同じような体験をしたことがあるのですが、うまくいきませんでした。広く人とかかわり、新しく友達を見つけていくことは大事です。だからといって、すぐに気持ちを切りかえるのはかんたんではありません。これからも、人と人とのつながりについて、考えていきたいと思っています。

先生は、この二人の感想文はどちらも良い書き方だとみんなにしようかいました。二人に共通する良い書き方とは、どのようなことですか。二つ書きましょう。

(例) 自分の体験をもとにした感想や意見・決意が明確であること。

主人公の言葉を使ったり、物語のあらすじをすゝめたりしていること。

第一段落には心に残った主人公の言葉、第二段落には話のあらすじ、第三段落には自分の考えを中心にするなど、三段落構成で書いていること。

よきは3つ。(。自分の生活体験や思いなどを結びつけた感想や意見などを書いている。
。本の引用や要約をしている。
。段落構成や言葉の使い方を工夫している。

〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号	調査の名称（実施学年）	正答率（%）
一	平成19年度 全国学力・学習状況調査（6年）	(1)56.2 (2)55.1

〔参考〕出題の趣旨

一	二つの文章を比べて読み、共通する書き方の良さや工夫を評価し、自分の考えとしてまとめることができるかどうかをみる。
---	--

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率（%）	自校の反応率	正答		
一 一つ目	<p>（正答の条件）</p> <p>次の条件などを満たして、二人に共通する書き方の良いところを書いている。</p> <p>①自分の生活体験や思いなどを結びつけた感想や意見、決意が明確であること。</p> <p>②本の引用や要約をしていること。</p> <p>③段落構成（三段落）や言葉の使い方（現在形・過去形）を工夫していること。</p> <p>（正答例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体験をもとにした感想や意見、決意が明確であること。 主人公の言葉を使ったり、物語のあらすじをまとめたりしていること。 第一段落には心に残った主人公の言葉、第二段落には話のあらすじ、第三段落には自分の考えを中心にまとめるなど、三段落構成で書いていること。 					
	1	条件①，②，③などの複数を満たすか、いずれかを満たして解答しているもの	56.2		◎	
	2	条件①，②，③などを満たさないで解答しているもの	30.3			
	9	上記以外の解答	0.5			
	0	無解答	13.1			
	二 二つ目	<p>（二つ目が正答になる条件）</p> <p>一つ目と同じ条件を取り上げてもよいが、全く同じような内容ではないこととする。同じような内容と判断するものは、類型2とする。</p>				
		1	条件①，②，③などの複数を満たすか、いずれかを満たして解答しているもの	55.1		◎
		2	条件①，②，③などを満たさないで解答しているもの	27.1		
		9	上記以外の解答	0.4		
		0	無解答	17.4		